

経営比較分析表（令和6年度決算）

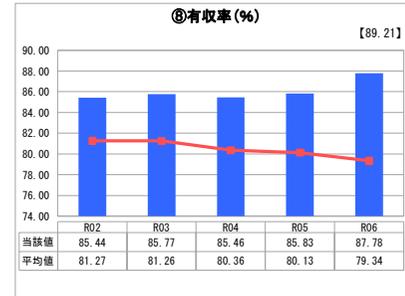
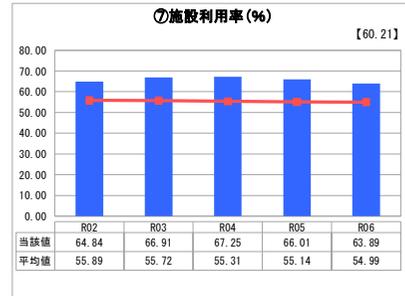
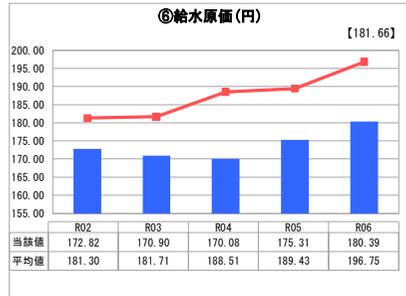
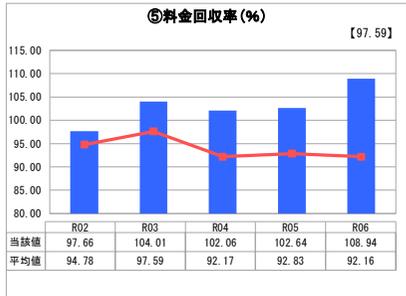
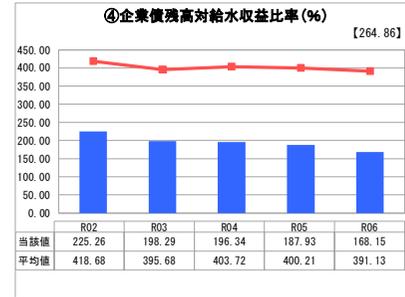
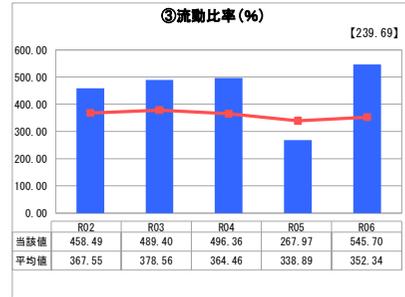
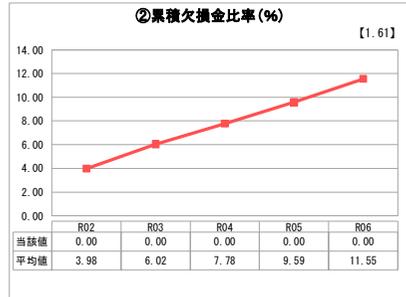
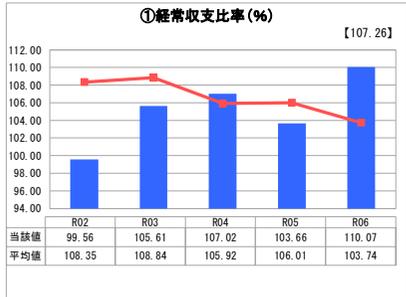
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.32	99.78	2,948	

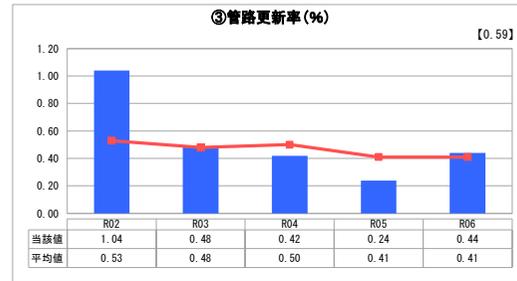
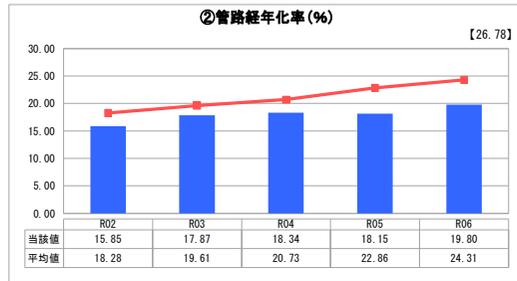
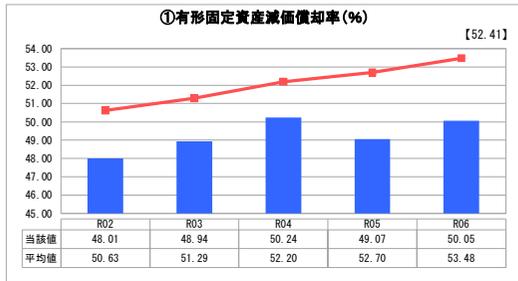
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,482	38.64	452.43

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
経常収支比率は100%を上回り黒字となり、類似団体平均も上回っている。昨年に比べ水道料金の値上げに伴い給水収益が増えたため6.41ポイント増加となった。

② 累積欠損金比率
累積欠損金は生じていない。

③ 流動比率
令和6年度の水道料金改定後以降、増加傾向にあり、類似団体を上回っていることから、短期的な債務に対する支払い能力が高いと見える。

④ 企業債務高対給水収益比率
企業債務高の減少により、数値が減少している。今後は施設更新に伴う借入により数値が上昇する見込みであり、状況を注視していく。

⑤ 料金回収率
昨年に比べ給水収益の増、及び長期前受金戻入の増により、昨年より料金回収率は上がり、料金回収率が100%を上回っている。

⑥ 給水原価
昨年度より有収水量が減少したため、給水原価は増となったが、類似団体平均を下回っており安価な原価で供給している。今後は水値上げなど給水原価の上昇が見込まれるためコスト削減に努める。

⑦ 施設利用率
使用水量の増加により、1日平均配水量が減少したため、昨年度に比べ施設利用率は減少している。今後は人口減少等により数値が低下していくと考えられるため、ダウンサイジング等を検討していく。

⑧ 有収率
類似団体を上回っているものの、漏水等の無効水量をさらに減少させ有収率を上昇させることが重要と考える。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
類似団体平均を下回っているが、上昇している。今後は経年による施設全体の老朽化が進み、上昇する見込みである。

② 管路経年化率③管路更新率
管路経年化率は前年度に比べ1.65%の増加と老朽化が進んでいる一方、管路更新率は前年度より0.2%増加し、0.44%となっている。これは、前年度に比べ、管路の布設替工事の更新延長が増えたことによるものである。

施設更新については、吉見町水道事業ビジョン及び基本計画に基づき計画的に実施している。今後も引き続き、計画に基づき継続的な施設更新を進めていく。

全体総括

本年度は給水収益が増加し、経常収支比率が100%を上回った。しかし、建設改良工事等の増加により、資金残高は減少傾向にあるため、経営の健全性・効率性としては良好とは言えない。今後は大口使用量の動向を注視するとともに、引き続き企業債の借入を実施し、適切な施設の維持管理、施設規模の見直し等を検討していく。また、本年度も有収率の改善に向けて、アセットマネジメント計画に基づき老朽管の更新及耐震化の促進に努めるほか、漏水調査を引き続き実施していく。

今後も、本町の水道事業ビジョンに掲げる基本理念である「より安全・安心で、しあわせを守るみんなの水道水」を目標に、安全な水道水と安定供給の確保のため、より一層の経営基盤の強化を図っていく。

経営比較分析表（令和6年度決算）

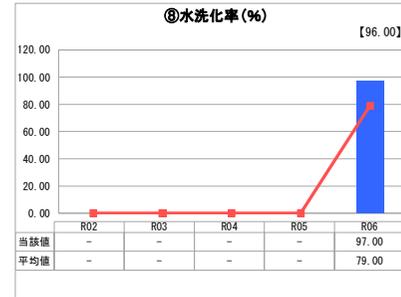
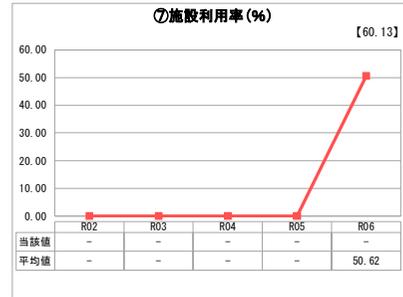
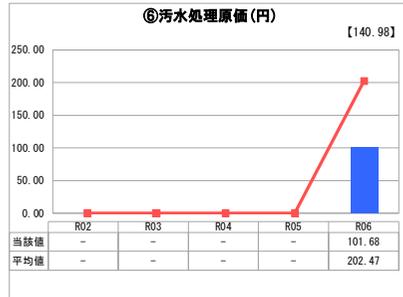
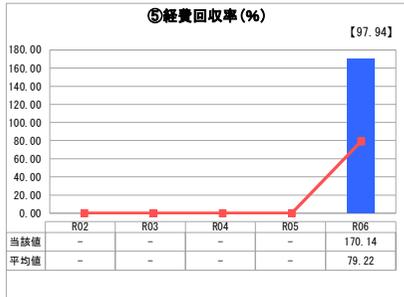
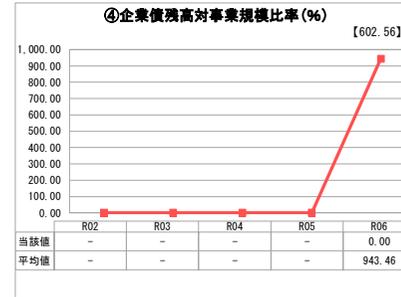
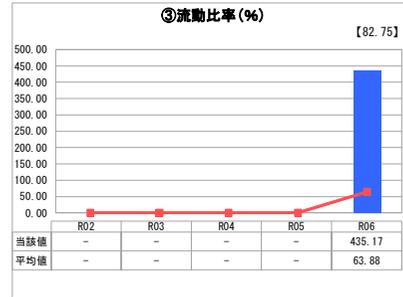
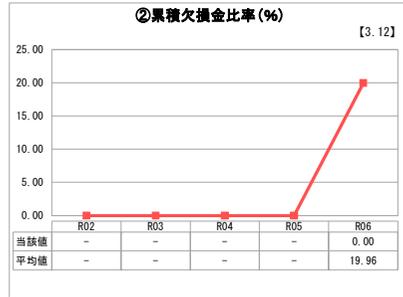
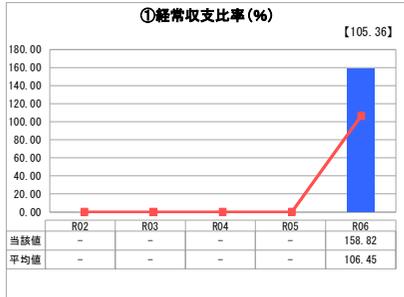
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	88.48	14.27	100.90	2,145

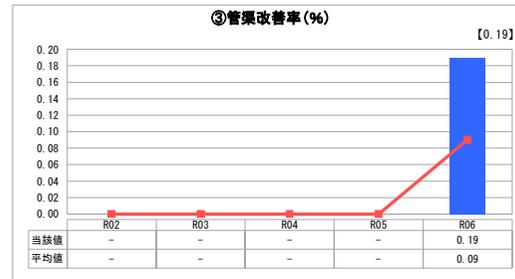
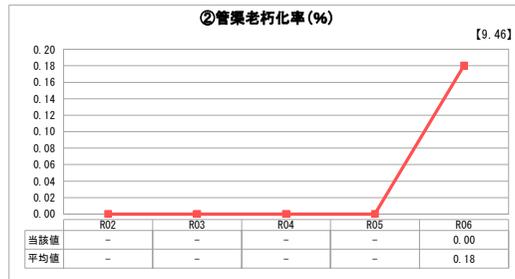
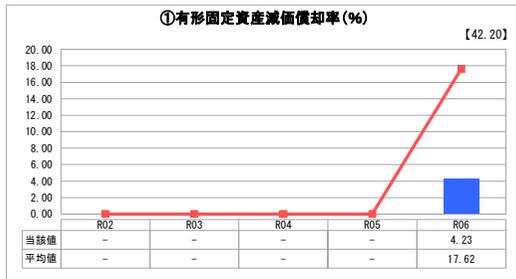
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,500	0.99	2,525.25

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。

③流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対する一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤経費回収率
100%を大きく超えており、汚水処理費を使用料で十分に賄っている状況である。しかし、物価高騰等の影響により汚水処理費も年々高騰していることから今後も堅実な経営を行っていく。

⑥汚水処理原価
類似団体平均及び全国平均を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれることから、有収水量の維持に努める。

⑦水洗化率
類似団体平均及び全国平均を上回っている。今後も接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っている。ストックマネジメント計画をもとに資産管理を行っていく。

②管渠老朽化率
法定耐用年数を超えた管渠はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

③管渠改善率
類似団体平均よりも高く、全国平均と同率となっている。老朽管の状態を把握し、効率的かつ効果的に更新・改善を進めていく。

全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っている。また、経費回収率も高いことから、収入をもって適切に経常的な支出を賄っている状態である。その一方で、一般会計からの繰入に依存している傾向も強く、使用料改定の検討を踏まえ、経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

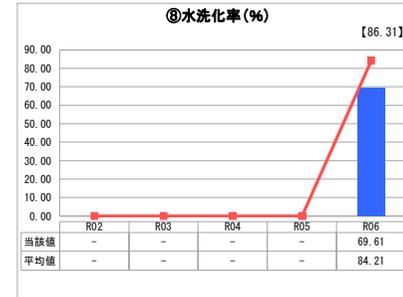
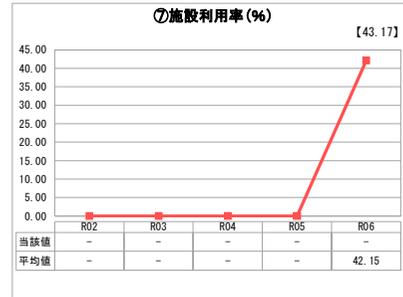
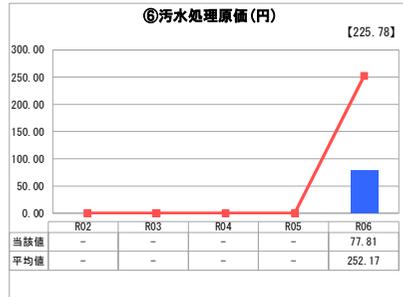
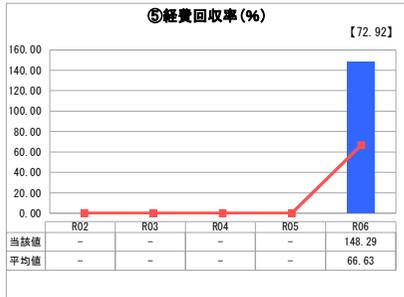
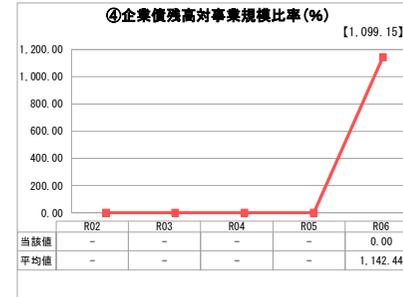
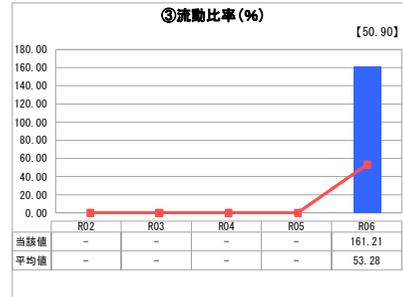
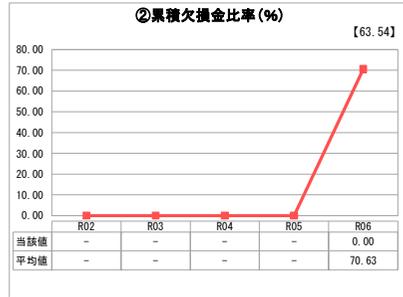
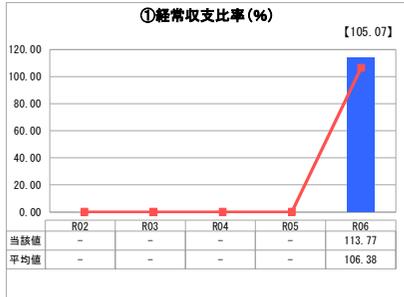
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	61.00	14.61	100.95	2,145

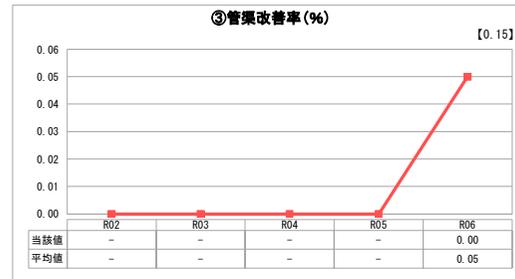
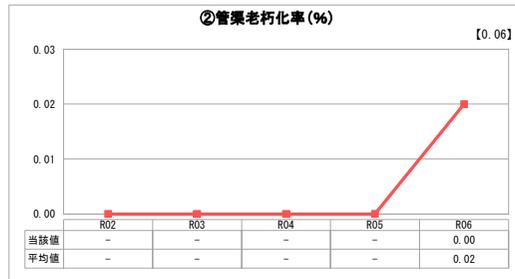
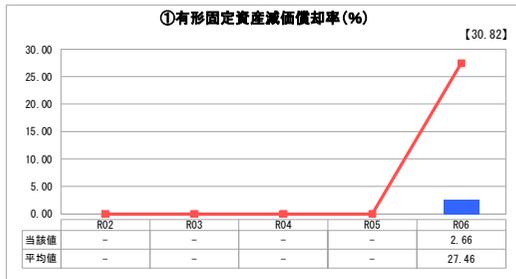
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,560	1.16	2,206.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。

③流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対しての一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤経費回収率
100%を大きく超えており、汚水処理費を使用料で十分に賄っている状況である。しかし、物価高騰等の影響により汚水処理費も年々高騰しているため、堅実な経営を行っていく必要がある。

⑥汚水処理原価
類似団体平均及び全国平均を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれることから、有収水量の維持に努める。

⑧水洗化率
類似団体平均及び全国平均を下回っている。今後も接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っている。ストックマネジメント計画をもとに資産管理を行っていく。

②管渠老朽化率
法定耐用年数を超えた管渠はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

③管渠改善率
当該年度に管渠の更新は行っていない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っている。また、経費回収率も高いことから、収入をもって適切に経常的な支出を賄っている状態である。その一方で、一般会計からの繰入に依存している傾向も強く、使用料改定の検討を踏まえ、経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.04	27.37	116.89	2,145

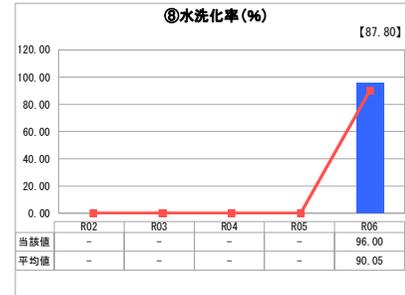
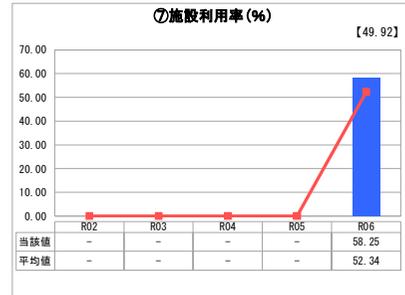
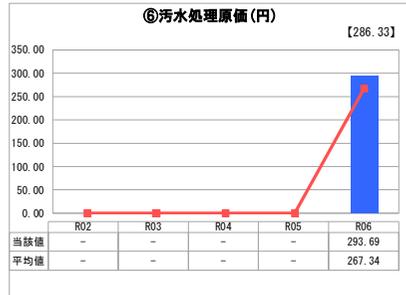
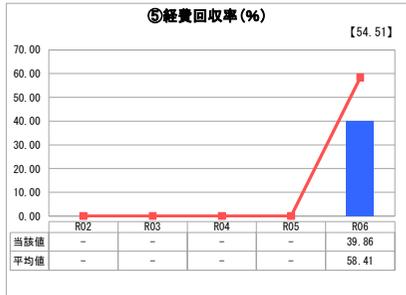
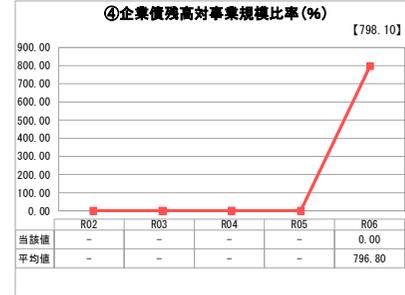
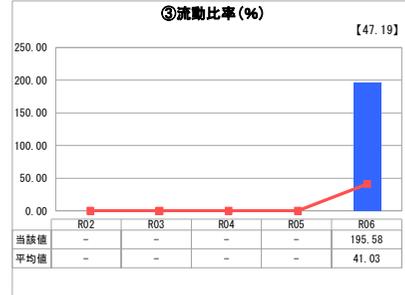
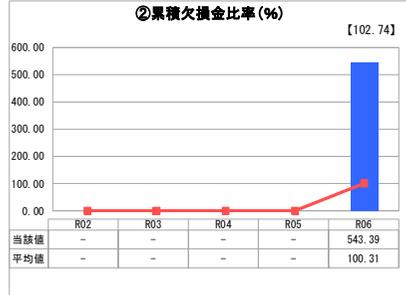
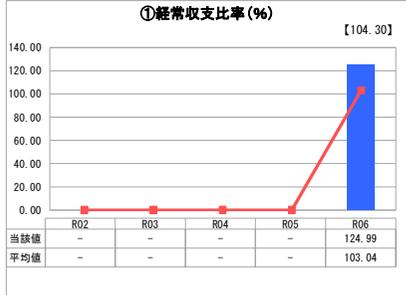
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,795	7.73	620.31

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。

② 累積欠損金比率
経常費用に対して資本費（減価償却費及び支払利息）の比率が高い傾向にあることが要因と推測される。今後は収益性の向上を図っていく。

③ 流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④ 企業債務高対事業規模比率
企業債務高に対する一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤ 経費回収率
39.86%と類似団体平均及び全国平均を下回っており、汚水処理費を使用料で賄えていない状況である。そのため、一般会計繰入金への依存度も高く、今後は使用料改定の検討を進め、経営改善に取り組んでいく。

⑥ 汚水処理原価
処理場費等の維持管理費が掛かることから、汚水処理原価が293.69円と類似団体平均を26.35円上回っている。効率的な施設運営による維持管理費の削減に取り組む必要がある。

⑦ 施設利用率
類似団体平均及び全国平均より施設利用率が高い状況ではあるが、施設の統廃合の検討等を進め適切な施設規模を検討していく。

⑧ 水洗化率
類似団体平均及び全国平均を上回っている。今後も継続促進に努める。

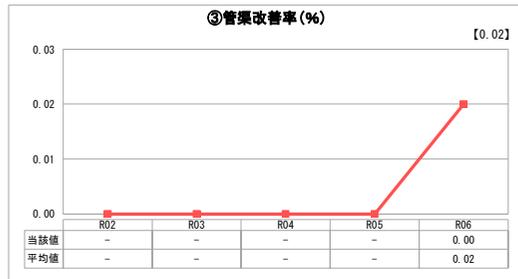
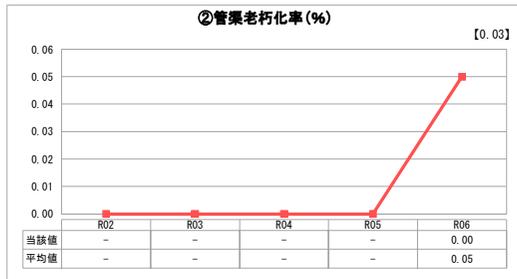
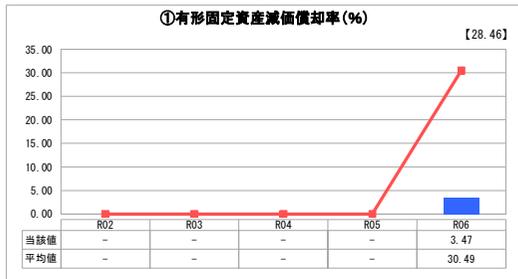
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は3.47%であり、類似団体平均及び全国平均を下回っている。しかしながら、処理場及び管路など固定資産を多く所有していることから、将来的にはこの比率は大きく上昇していくものとする。施設更新及び施設の統廃合等を計画的に進めていく必要がある。

② 管路老朽化率
法定耐用年数を超えた管路はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

③ 管路改善率
当該年度に管路の更新は行ってない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っているものの、経費回収率が低い状態であることから、使用料収入だけでは経費を賄いきれていない状況であり、一般会計からの繰入金への依存度が高い状態にある。使用料改定の検討を進めるとともに、施設の更新・統廃合等についても計画的に進め経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管路老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和6年度決算）

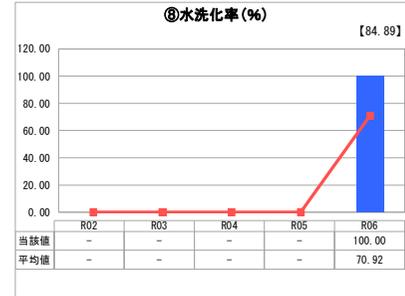
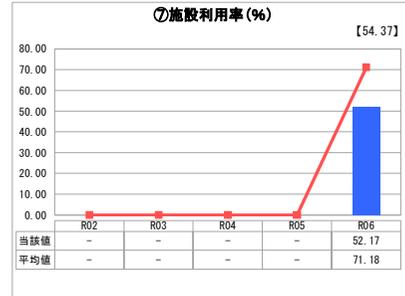
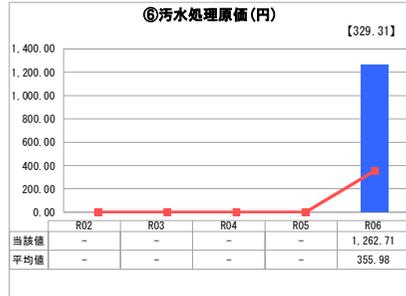
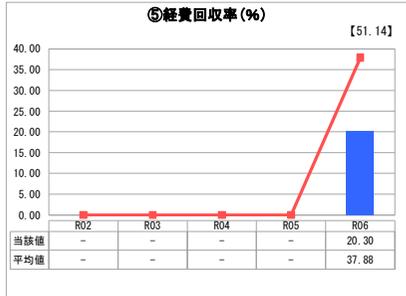
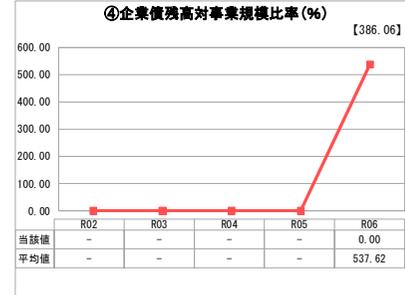
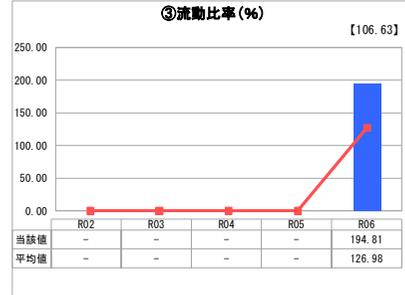
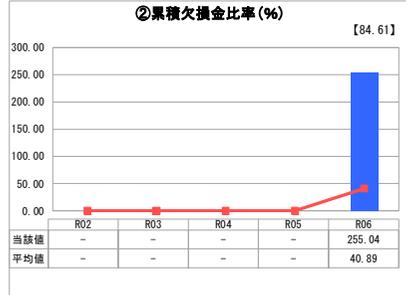
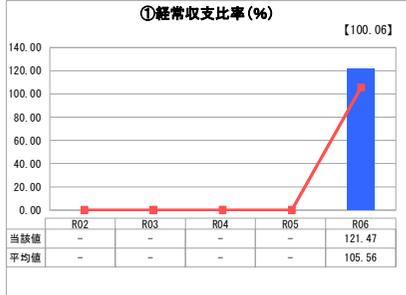
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	39.40	0.49	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86	0.01	8,600.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。経費を削減するなど経営の効率化に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率
経常費用に対して資本費（減価償却費及び支払利息）の比率が高い傾向にあることが要因と推測される。

③流動比率
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対しての一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤経費回収率
類似団体平均及び全国平均を下回っている。維持管理費などの経費を削減するなどの取り組みが必要である。

⑥汚水処理原価
類似団体平均及び全国平均を上回っている。これは事業規模が小さく、事業に係る汚水処理費に対して有収水量が少ないことが要因である。

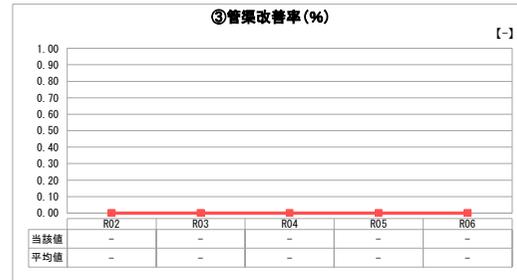
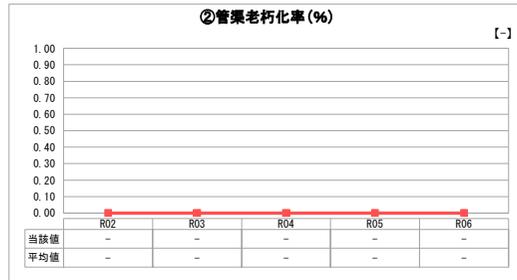
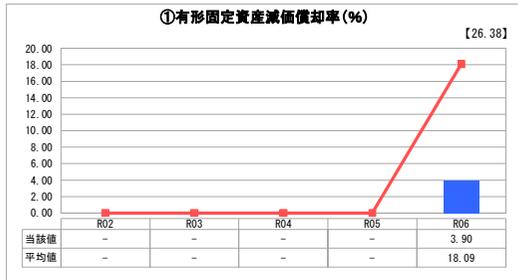
⑦施設利用率
少子高齢化及び節水機器の普及等により処理水量が少なかったと推測される。

⑧水洗化率
例年、類似団体平均及び全国平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
事業の開始から10年程度であることから浄化槽の顕著な老朽化は見られないが、今後20年から30年後に浄化槽が耐用年数を経過し始めるので、毎年の法定検査、保守点検及び清掃の適正な実施により、浄化槽の性能の維持を図る。

2. 老朽化の状況



全体総括

事業規模が小さく、今後使用料収入が大きく増加していくことが想定できないため、事業を継続していくにはある程度一般会計繰入金に依存していく必要がある。経費削減など、引き続き経営努力を続けていくことで、一般会計への依存をなるべく減らしていくよう努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。